

平成 24 年度 ダム工学会 中四・国地域現場見学会・講演会 実施要領

本年度もダム工学会活性化の一環として、中国・四国地域のダム技術者および関係者を対象とした現場見学会及び講演会を企画致します。

<実施概要>

1. 開催概要

(1) 開催日

平成 24 年 11 月 22 日（木）（日帰り・雨天決行）

(2) 開催場所

島根県 第二浜田ダム(建設中)：島根県浜田市

(3) 参加対象者

50 名程度(ダム工学会会員以外も参加可能)。

(4) 参加費

参加費：1,000 円（昼食代）

交通費：集合場所まで、解散場所からの交通費は各自負担とします。

（集合解散場所ともに広島駅新幹線口を予定）

(5) 携帯品

本見学会の参加の際に、各自で「ヘルメット」、「長靴」を持参してください。

2. 見学会

昨年度から堤体コンクリートを打設している第二浜田ダムの現場見学を行います。

【第二浜田ダムの概要】

ダム名	第二浜田ダム（建設中）
位置	島根県浜田市河内町・三階町地先
型式	重力式コンクリートダム
堤高	97.8m
堤頂長	218.0m
堤体積	約 330 千 m ³
総貯水容量	15,470 千 m ³
有効貯水容量	14,220 千 m ³

コンクリート打設は、ケーブルクレーン・SP-TOM 併用で行われており、7 月末現在で、本体ダム約 106,900m³（35%）、減勢工：約 12,300m³（95%）の打設が完了しています。（2013 年秋頃まで打設完了予定）

3. 講演会

現場見学会に合わせ技術講演会（岡山大学名誉教授 阪田憲次 氏）を開催します。

講演会の場所は、石央文化ホール（2階 小ホール）です。

4. 概略行程

行程は下記のとおりとする。（予定）。

集合場所は広島駅（新幹線口 ホテルグランヴィア広島 前）のほか、JR 山陰本線浜田駅を予定する。

項 目	時 刻	内 容	備 考
集合場所① JR 広島駅（新幹線口）	8：10	集合・出発	集合・解散場所
移動	8：10～10：10	120 分	大型貸切バス
集合場所② JR 浜田駅	10：10	出発	山陰側集合・解散場所
移動	10：10～10：30	20 分	大型貸切バス
現場見学 第二浜田ダム（建設中）	10：30～12：00	90 分	概要説明、現場見学
昼食・休憩	12：20～13：20	60 分	ゆうひパーク浜田（道の駅）
移動	13：20～13：30	10 分	
講演会 （阪田 憲次 氏）	13：40～15：00	80 分	石央文化ホール （小ホール）
移動	15：00～15：10	10 分	大型貸切バス
解散場所② JR 浜田駅	15：10	解散	
移動	15：10～17：10	120 分	大型貸切バス
解散場所① JR 広島駅（新幹線口）	17：20 頃	解散	

5. 事務局

ダム工学会中四国地区（活性化推進小委員会 地域活動 中国・四国ブロック）の事務局は、中電技術コンサルタント株式会社内に置くものとし、担当者及び連絡先を下記に示す。

- ・委員長 ： 山下 雅彦 （中電技術コンサルタント株式会社 河川部）
TEL 082-256-3361 携帯 080-1937-2785 FAX 082-254-2496
E-mail： yamasita@cecnet.co.jp
- ・幹事 ： 濱田 隆敬 （中電技術コンサルタント株式会社 河川部）
TEL 082-256-3361 携帯 080-5756-4817 FAX 082-254-2496
E-mail： thamada@cecnet.co.jp

見学ダム及び見学ルート（案）



参 考

ダム工学会活動に関する主旨（ダム工学会設立趣意書より抜粋）

ダム工学会は、国内における関連学協会はもとより、国際的な学協会及び研究機構との連携を図り、国際的な研究交流と協力においても先導的役割を果たすとともに、学者、研究者のみならず官界、民間の技術者にも広く参加・協力を求め、技術現場からの研究課題の発掘と研究成果の社会への速やかな還元を目指す。

以上の趣旨に基づき、本学会は、

1. 学際的かつ総合的研究を重視する。
2. 新技術の開発・応用など、創造的、先導的な研究を重視する。
3. 学際問題への適用を図るために、学、官、民の研究者、技術者の交流を促進する。
4. 国際的な交流と協力を積極的に図る。

を4つの柱として、ダム工学研究の向上発達を図ることを目的とする。具体的には、次のような活動を予定している。

1. 学術講演会、シンポジウム、現地見学会などの実施
2. 学会誌「ダム工学」の発行
3. ダム工学に関連する国内外の研究活動、会議等に関する情報の収集と伝達
4. 特定研究テーマに関する研究部会活動

（いくつかの研究部会を設け、横断的研究ならびに学、官、民の交流を推進する。）

ダム工学会地区活動について

平成17年6月20日開催のダム工学会第31回理事会において、地域ごとに学・官・民が情報交換できる機会を多く設けるため、ダム工学会の各地区活動を積極的に行うことが了承されました。

具体的には、各地区において現場見学会や技術検討会の開催等を行うことにより、地方在住の学・官・民の交流による情報交換、或いはダム工学の活性化を深めていくものです。

中国・四国地区の活動実績

回	開催日	開催場所	講演者	参加者数
第1回	H18年12月1日(金)	土師ダム(建設現場) 福富ダム(建設現場)	岡山大学 大学院 阪田教授 広島県福富ダム建設事業所 下川専門員	46名
第2回	H19年11月30日(金)	香川用水調整池(建設現場) 豊稔池ダム(完成ダム)	(独)水資源機構 吉野川局 杉村局長 香川用水土地改良区 長町相談役	74名
第3回	H20年11月14日(金)	志津見ダム(建設現場) 灰塚ダム(完成ダム)	伊藤 裕啓 氏 (元灰塚ダム建設対策同盟会事務局長)	41名
第4回	H21年11月20日(金)	殿ダム(建設現場)	鳥取大学 大学院 井上教授	66名
第5回	H22年11月12日(金)	第二浜田ダム(建設現場) 浜田ダム(完成ダム)	同上	37名
第6回	H23年11月18日(金)	新内海ダム(内海ダム再開 発：建設現場) 内海ダム(完成ダム)	香川大学 堺教授	42名
第7回	H24年11月22日(木)	第二浜田ダム(建設現場)	阪田 憲次 氏 (岡山大学名誉教授)	50名程度

※講演者の所属等は開催時点のもの